

国土の繁栄と平和をまもろう

本会は自衛隊員の激励及び慰問、退職隊員の就職協力等を行うと共に自衛隊の諸行事に協力し隊員との親睦を図り、防衛思想の普及並びに隊員の健全な育成発展に協力するを目的とする。



第206号

平成31年4月1日

発行所

大阪防衛協会

(☎541-0041) 大阪市中央区北浜4丁目2番13号 淀屋橋今西ビル4F
TEL 06-6202-8284

発行人

井上礼之

編集責任者

蛸原康治

印刷所

(株)DNPメディアサポート



大阪防衛協会青年部会主催の「OSAKA防衛・防災フェスティバル2019」が3月3日(日)、大阪南港ATCとその周辺で行われた。今回は2008年から5回目の開催となり、「私たちの誇り、自衛隊に会いに行こう」をテーマに陸・海・空自衛隊の装備品を展示し、国の防衛について市民の意識を高めると同時に防災に関心を高める目的で行われ、家族連れ等約1万人の来場者を得て盛会裡に終わった。

事業の概要について

☆防衛エリアでは

- ・陸上自衛隊から最新鋭の16式機動戦闘車、中距離多目的誘導弾、155榴弾砲、01式軽対戦車誘導弾、新野外通信車広域用監視装置、野外手術システム等
- ・海上自衛隊から掃海母艦「ぶんご」、掃海艇「なおしま」が岸壁に着岸
- ・航空自衛隊から地对空誘導弾「ペトリオット」を展示

第5回「OSAKA防衛・防災フェスティバル2019」

1万人の来場で賑わう

☆訓練等の展示

- ①陸上自衛隊レンジャー部隊によるビル屋上の懸垂降下訓練を展示
- ②中部方面音楽隊、福知山酒吞太鼓隊が3回の演奏で盛り上がった。
- ③足湯体験並びに炊事車による豚汁の炊き出しの提供が大人気となり、長い行列ができた。

☆募集広報

ドローン体験、ネイル体験、自衛官と懇談等より親密な時間となった。

☆防衛・防災グッズの販売

災害時に必要とされる様々な防災グッズを展示並びに販売した。

日本国練習艦隊歓迎！

平成31年3月18日早朝、司令官・梶元大介海将補率いる実習生188名(内女性23名)を乗せた練習艦隊(練習艦「かしま」、護衛艦「いなづま」、護衛艦「まゆき」)の3隻は神戸新港第4突堤にその勇姿を現し、恒例により岸壁で歓迎行事が行われた。実習生は3日間の関西における各種研修を終え、21日早朝出航した。

▽練習艦隊歓迎・壮行会

18日夕、シエラトン都ホテル大阪(大阪天王寺区)において練習艦隊歓迎の夕べ・壮行会(関西水交会主催、大阪防衛協会等協賛)が行われ例年どおり、「軍艦マーチ」の手拍子で入場。続いて宝塚歌劇団花組3人の乙女たち(糸月雪羽、泉まいら、咲乃深音)が歌い、しばし華やかなステージに浸った。引き続き、若い海軍士官を囲んで満員の会場がしばし熱気に包まれた。



▽艦上レセプション

翌20日夕神戸埠頭に停泊中の「かしま」「いなづま」艦上において艦上レセプションが行われ、約500名が招待され、艦上でひしめき合いながら隊員手作りの料理に舌鼓を打ち、練習艦隊乗組員と実習生を激励した。

▽遠洋航海

21日早朝、練習艦隊は約2ヶ月間の国内における研修と訓練を重ねる近海演習のため神戸港を後にした。

5月中旬、東京港を出航し約5ヶ月間かけて環太平洋の国々

主な記事

- 平成30年度 主要事業報告
- 2019年安全保障情勢概観
- 特別寄稿 不肖宮嶋茂樹が行く「連戦エッセイ」夕暮れの街」その82
- 防衛・防災フェスティバルの写真等
- 会員総会案内 講師プロフィール
- 女心の防衛論「外国人労働者受け入れ」憂国論
- 行事メモ(案内)・事務局だより

(4)(4)(4)(4)(3)(3)(2)(2)



新入会員 (敬称略)

平成31年1月〜3月

() は推薦者名

▽賛助会員 (10名)

中西高義、城井康弘、岡本美紀、水川明、浄土栄之助、木村淑子、加藤堅(以上岡二郎) 植村優代(大阪家族会) 木村彩、増田大志(以上普通会員から)

▽普通会員 (15名)

殿村時加子(榎本貞子) 姫野康通、東尾雅史(以上秋田和孝) 田村美奈子(細見祐輔) 戦嘉明(田中敏光) 岸光男(走水会) 神宮寺妙城(天狗佑太) 辻慎一郎(太田満夫) 青木美香子、岡田修(以上岡二郎) 藤川昌美(富家民茂) 奥出篤以(勝元二仁) 榎本隆志、増岡幸男、梶原雄治(以上IT)

楯・滴

「いつまでも国民に誇り」1989年1月7日昭和天皇が崩御され平成が幕を開けた。この平成の30年間自衛隊が大活躍し、だれもがその恩恵を被った。特に関わり深い出来事として平成7年阪神淡路大震災に見舞われ、地下鉄サリン事件、平成23年東日本大震災に見舞われ、平成26年御嶽山噴火、平成28年熊本地震、平成29年九州北部豪雨、平成30年大阪北部地震、西日本豪雨等相次ぐ自然災害に見舞われたが、自衛隊は、すべての災害に中心的役割を果たした。その間、国際緊急援助隊として20数か国に派遣されている。

平成2年イラン・イラク戦争が起り湾岸戦争となった。平成4年にPKO協力法が成立し、平成5年カンボジア派遣を皮切りにモザンビーク、ハイチ、南スーダン等に派遣、さらに平成13年9・11米同時多発テロ事件が勃発、15年イラク復興支援のため3年半にわたり派遣、平成21年からソマリヤ沖アデン湾での海賊対処活動等々枚挙にいとまがない。またその間、陸海空自衛隊は24時間態勢で監視活動を行い、一昨年来からの北朝鮮からの核・ミサイル実験等に対する実戦配備及び訓練を行い、今や自衛隊無くして日本という国が存在しえない状況である。さらに直面するであろう危機に対して日本と世界の平和に積極的に貢献するため、我が国独自の憲法の制定が日本を立て直す最良の道である。55年前、松下幸之助初代会長は「自分を守り、家族を守り、社会を守り、国を守るのとは日本国民の当然の義務である」と訴えている。その中心的役割を果たす自衛隊を支え、激励する全国の防衛協会の役割も益々重要な存在であることを再認識して新しい時代を迎えたい。(平成31年4月1日KE)

平成30年 安全保障情勢概観

(一)全般

我が国を取り巻く安全保障環境は北朝鮮が昨年2月平昌オリンピック以降、韓国側と南北首脳会談、以後米朝首脳会談が実施されて朝鮮半島情勢は大きく動き始めた。しかし国際社会においては、国家間の相互依存関係が一層拡大・深化する一方、中国等のさらなる国力の伸長等によるパワーバランスの変化が加速化・複雑化し、既存の秩序をめぐる不確実性が増している。

世界各所で生起する紛争の要因は複雑多岐にわたり、その脅威対象は、国家のみではなく非国家集団を標榜する組織に及び、その戦闘様相は「陸・海・空」のみならず、「宇宙・サイバー・電磁波」空間への攻撃、テロなどにより日常の社会を混乱と恐怖に陥れる形が全世界を覆いつつある。

また各国はゲーム・チェンジヤーとなりうる最先端技術を活用した兵器の開発に注力するとともに人工知能(AI)を搭載した自律型無人兵器システムの研究にも取り組んでいる。

こうした中、我が国の周辺には質量に優れた軍事力を有する国が集中し、軍事力のさらなる強化や軍事活動の活発化の傾向が顕著となっている。

さらに気候変動とも相まって世界は従来にも増して不透明かつ不安定化し、世界の平和と安定に対する脅威は今後更に深刻なものになる可能性がある。

(二)周辺国の情勢について

北朝鮮は、一昨年まで弾道ミサイル実験や核実験を行い、同時発射能力や奇襲的攻撃能力等を強化して「核兵器の小型化・弾頭化」を実現しているとみられる。

昨年は朝鮮半島の完全な非核化に向けた意思を表明し、核実験場の爆破を公開する等の動きは見せたものの、すべての核兵器及び弾道ミサイルの「完全で検証可能な不可逆的非核化」(CVID)を求めているが、その後の進展は見られず本質的な変化は生じていない。さらに2月27日、28日のベトナムハノイで行われた米朝首脳会談は物別れに終わり、今後の米朝の変化と北朝鮮と関係の深い中・韓の動向と推移を見守る必要がある。

中国は、3月5日から第13期全国人民代表(全人代)行われ、公表された2019予算案によると、国防費は前年実績比75%増の1兆1898億576000元(約19兆8千億円・日本の約37%)を計上し、東・南シナ海などを念頭に「海洋強国を建設」と改めて宣言した。

また昨年4月から12月までの緊急発進回数は758回(前年同時期より22回増加し、平成17年度以降では2番目の多さ)このうち対中国機は81回増えて476回となった。

今世紀中葉までに世界一流の軍隊を建設することを目標に、核・ミサイル戦力や海上航空戦力を中心に軍事力を急速に強化すると同時に「サイバー領域や電磁波領域における能力」や「対衛星兵器の開発・実験」も継続している。沖縄本島と宮古島間の宮古海峡を通過する事例が増え、東シナ海を中心とする中国軍機の活動は活発化し、さらに我が国固有の領土である尖閣諸島周辺においては公船による断続的な領海侵入や海軍艦艇による恒常的な活動を行っている。

ロシアはプーチン大統領の強いリーダーシップのもと、「強いロシアの再現」をスローガンとして核戦力を中心に軍事力の近代化とともに軍事態勢の強化をはかっており、ウクライナ情勢等をめぐり、欧米と激しく対立している。国力の回復とともに、軍事強国の建設を推し進めている。

その結果、軍の活動・訓練回数も増加し、日本周辺での艦艇、航空機による周回活動も活発になっている。対ロシア機緊急発進は前年同時期より58回減って270回となった。

我が国との北方四島の領土問題では、首脳会談が行われたとはいえ、ロシアが一度手中に収めた領土を手放すとは思えず、返還は夢のまた夢になりつつある。

韓国は、平成27年末、慰安婦問題の最終的かつ不可逆的に解決することで日韓が合意した後、平成29年5月10日、文在寅大統領が就任したが、30年10月韓国大法院は徴用工訴訟で日本企業に損害賠償を求め、また昨年12月には韓国艦が海自機にレーダー照射、31年1月韓国

平成30年度 事業報告

(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

平成30年4月	
1日「まもり」第202号 発行	
4日 空自108期一般幹部候補生入校式 (奈良)	
24日 30年度理事会 (大阪)	
28日 中防有識者懇談会 (伊丹)	
5月	
3日 大津駐屯地創立記念日	
13日 第3師団創立記念日 (伊丹市千僧)	
6月	
2日 空自奈良基地祭 (奈良)	
2日 阪神基地隊開隊記念行事 (神戸)	
5日 平成30年度会員総会 (西宮)	
8日 中防音楽隊定期演奏会 (西宮)	
7月	
4日 全国防衛協会連合会総会 (東京)	
5日「まもり」第203号 発行	
20日 22日 大阪地本艦艇公開(大阪港)	
21日 阪基隊サマーフェスタ(神戸)	
8月	
24日 平城山納涼会 (奈良)	
25日 26日 富士総合火力演習 (東富士演習場)	
9月	
1日 大阪地方協力本部創立記念行事	
10月	
1日「まもり」第204号 発行	
7日 中部方面隊創立記念日(伊丹)	
11月	
10日 第3師団追悼式 (千僧)	
10日 第2回OBKゴルフ大会	
21日 22日 全国防衛協会女性部研修会 (東京)	
26日 27日 全国連合会研修旅行 (西部地区)	
12月	
6日 女性部による阪神病院患者見舞いと女性自衛官激励・慰問 (伊丹・千僧・川西)	
7日 関西安全保障セミナー協賛 (大阪)	
8日 阪神基地隊年末行事 (神戸)	
平成31年1月	
14日 自衛隊記念日観閲式(朝霞)	
19日 空自第108期候補生防大課程卒業式 (奈良)	
21日 八尾駐屯地創立記念行事	
21日 22日 全国防衛協会連合会青年部研修(近畿地区)	
2月	
12日 第3師団音楽定期演奏会	
24日 全国防衛協会連合会常任理事会 (東京)	
3月	
3日 防衛防災フェスティバル	
10日 大阪地方協力本部入隊予定者激励会 (大阪)	
14日 全国防衛協会連合会理事・評議員会 (東京)	
18日 海自練習艦隊入港歓迎式	
19日 艦上レセプション(神戸港)	
20日 練習艦隊出港見送り	

「すべての領域における軍事的優位の維持」、「核抑止の強化」、「ミサイル防衛能力の高度化」等に取り組んでいる。

欧州においては、ウクライナ問題に加え、域内の経済あるいは民族上の問題が露呈する一方、中東・アフリカからの難民問題が財政負担と社会不安をもたらし、さらに英国のEU離脱が代表されるとように特にフランス、オランダ、ドイツ等ナショナリズムを再燃させるなどEUの結束と域内国の内政に深刻な影響を与えている。さらに北大西洋条約を始め日本を含む同盟国に対し、共有する安全保障上の利益を追求する機会が増えるものと思われる。

(三)我が国の安全保障について

以上周辺国の安全保障環境を概観したが、このように大きく変化する世界情勢にあつて、我が国では、平成25年12月に「安全保障戦略」

が閣議決定、平成27年4月には「日米防衛協力のための指針」が2プラス2で了承され、同年9月所謂「平和安全法制」が可決成立し、昨年12月防衛計画の大綱が発表された。

さらに現政権の「積極的平和主義」を具現するため、日・米・英・豪・印・伊国及びASEAN諸国との協力が必要であり、持続可能な防衛力が必要となるが、31年度防衛費は7年連続増、前年度比13%増の5兆1911億円と過去最大規模となった。

地上配備型弾道ミサイル迎撃システム「イージス・ショア」、ステルス戦闘機F35A、新型の迎撃ミサイルSM3ブロック2A、次期警戒管制レーダー、V22オスプレイ4機等を購入予定で、飛躍的に増強されつつあり、自衛隊の存在意義は日増しに高まっているが、法的には極めて脆弱である。

憲法上の正当性付与は抑止力を高めるためにも不可欠である。そして、これを支える国民の意識がより一層重要である。

東日本大震災を契機に、防衛省・自衛隊及び日米共に対する信頼が大いに高まり、自衛隊を容認する意識の大幅な向上が見られる一方で、国民自ら家族や国を守る意識や世界の安定のために軍事力が果たす役割への理解については未だ十分とはいえない。

不安定化する国際情勢にあつて、我が国が果たすべき役割は更に大きくなるであろう。

(平成30年12月18日閣議決定された「平成31年度以降に係る防衛計画の大綱」の「我が国を取り巻く安全保障環境」から抜粋し、各種資料を付加して作成)(文責 蛸原康治)

我が国虎の子の空母...いや近い将来改修される護衛艦「いずも」が韓国の釜山入港を取りやめやて ええやん。そのあとの洋上訓練に参加するかもやて? やめとけ、やめとけ。あんなうそつき恥知らず海軍との共同訓練なんか百害あって一利もないで。奴らにとっては利多しやから利敵行為になつてまうやないか。



観艦式と「いずも」

写真家 宮嶋 茂樹

今年に入ってから安倍首相とプーチン露大統領との日露首脳会談でも「二島取り返さず返還」やの「四島一括返還」やの領土問題取り上げて、結局また我が国はプーチンの

も逆切れ。その被害者の日本人にまだ謝れと土下座強要しとるんやで。国際社会もレーダー照射問題で「あの国の出鱈目ぶり」「無法国家」ということがよく分かったやろ。また強制連行された従軍

た」と公式に謝罪したが、あの当時のソ連ですら65万人や。それを一人として証拠のない強制連行された従軍慰安婦は20万人と朝鮮人は言ううんや。一人もおらんのにあの半島は万事この調子や。

「レーダー照射問題」もそやんか。自らは証拠提示せず、示したとしてもねつ造し、こちらから決定的証拠提示しても自らがやてるから、ねつ造やてこけるのである。今回の釜山入港もそやけど今秋の海上自衛隊主催観艦式も絶対嫌がらせかましてくるよ。

また国際法無視して旭日旗を掲げて入港するなと云うてくるのは間違いないや。あの済州島沖の観艦式直後、韓国海軍の練習艦が佐世保に入港し、乗員は旭日旗に囲まれ大歓迎されたんやで。要するに「いずも」の雄姿を韓国人的目に触れさせたくないだけの嫌がらせやつたんや。

空母だけはマネできんからこは韓国国民に韓国軍は日本より優秀で強大やという幻想を信じさせ続けるために「いずも」を絶対入港させるわけにいかず、日本に国際法無視させていう聞けない無茶な掛けや。

いや「反日無罪」「親日死刑」のあの半島のことや。釜山入港中に爆弾テロかけてきよるわ。「いずも」艦尾に揚げられた旭日旗を見上げて「朝鮮人

連載エッセイ

夕暮れの街 その82

新渡戸稲造・武士道 70



M & U スクール学長 梅谷 忠洋 (フルート奏者・「おもいで酒」作曲家)

中小企業白書によると、毎年約九万社が起業し、ほぼ同数が廃業しています。起業する時には、国がその存亡を掛けて行く「戦争」を始めるくらいの覚悟がなくてはなりません。戦争を知らない世代が国民の八五%を超えた現在、平和ボケの上に無責任な考えの私利私欲型人間が、大勢世に蔓延っています。

戦争は、徳川家康遺訓に、「勝つ事はかり知って、負くること知らざれば、害その身にいたる」とあるように、慎重に行う用意が必要です。ボケるとは現実を直視できない人間のこと。今まで事故に遭遇したことの少ない人間が、これからの世に遭わな

い「だらう」という考えが「ボケ」そのものです。従って、自分も失敗する「かも知れない」という気概で生きてゆかないと、失敗の確率は増大すること必定!

起業する「企業経営者」になるとは、一國の存亡を左右する将帥の気

構えなくして行つてはなりません。何故なら、敗北は「悲惨」の極致を招くからです。

経営コンサルタントは、「如何に戦うか(如何に儲けるか)」という方法を論を追求してはいます。が、「戦いとは何か(なぜ儲けなければならぬか)」という事になると、急に曖昧模糊となりま

す。この指針がシッカリしていると統率のとれた素晴らしい組織が出来上がることを明快に解説した名著が、カール・フォン・クラウゼヴィッツの「戦争論」です。

クラウゼヴィッツは幼少の時よりプロシア軍に入隊し、ナポレオン戦争では皇子アウグストの副官として出征するも、皇子共々フランス軍の捕虜となります。そして、「フリードリヒ大王以来の栄光と伝統に輝くプロシア軍が、何の伝統もない維兵に等しいナポレオンのフランス軍に

慰安婦は一人として証拠はないが中国大陸と朝鮮半島からシベリヤへ強制連行され強制労働を強いられた日本人は約65万人、そのうち約10万人が凍死や病死という筆舌に尽くしがたい過酷なもんやつた。当時のエリツイン大統領が1993年日本人に「違法やっ

た」と公式に謝罪したが、あの当時のソ連ですら65万人や。それを一人として証拠のない強制連行された従軍慰安婦は20万人と朝鮮人は言ううんや。一人もおらんのにあの半島は万事この調子や。

送をし、そのほとんどがアメリカ潜水艦の餌食となりました。旧陸軍でも、「月輪重砲隊が兵隊ならば蝶々蜻蛉も鳥のうち」という戯れ唄が流行ったように、兵站は軽視され、これが我が国の敗北要因の一つとなりました。

アメリカ通であり、長期戦では到底抗し得ないことを知る山本五十六大將は、開戦冒頭から米太平洋艦隊を徹底的に撃破し、アメリカ海軍とアメリカ国民の戦意を挫き、一気に講和に持ち込もうと考えていました。しかし、この山本五十六の戦略的判断は全く裏目に出してしまったのです。これをクラウゼヴィッツの言葉で述べると「戦術では大成功」「戦略」では、大失敗!です。

クラウゼヴィッツは、戦争を構成する複数の戦術をそれぞれを遂行する活動(手段)を「戦術」とし、これらの複数の戦術を戦争目的に結びつけ、まとめる活動を「戦略」としました。簡単に言えば、戦術とは「戦い方」であり、戦略とは「戦う意志」の在り方です。そして、きわめて重要なことは、戦略と戦術は全く異なるもので、近代兵学における常識「戦略上の失敗は、戦術では回復し得ない」という結論を、既にクラウ

ゼヴィッツは明快にしていたのです。従って、戦争遂行は「戦術」「戦術」「ロジスティック」の兵学三要素を如何に全軍に徹底させるかが最重要です。これは経営に於いても全く同じです。

「戦術と戦略を区別せよ」 私たちは、戦争、ビジネス、はては日常生活の諸行動までその「目的と手段」を混交しがちです。つまり、戦略上の最終目的を達成するためには、その為の手段やプロセスの色々な戦術上の成功...つまり、「勝利の積み重ね」の必要を説いています。簡単にいうと、「戦略上の目的」とは我々の日常でいうと「目標達成」の事で、今の自分の行動(戦術)が「手段」か「目的」か、また「戦術」か「戦略」かをハッキリさせることから始めなければなりません。それは「戦争と恋愛は、始めるのは容易いが、終わるのは難しい」というように、形で勝利しても相手が心から屈服しなければ、再び戦争や争いになる可能性は大だからです。我が国は戦争に負けたにもかかわらず、やがて経済 大国として再興できたのは、人間社会が「意志の力」で動いている証だからです。

「戦争論」の「目的」が、また「戦術」か「戦略」かをハッキリさせることから始めなければなりません。それは「戦争と恋愛は、始めるのは容易いが、終わるのは難しい」というように、形で勝利しても相手が心から屈服しなければ、再び戦争や争いになる可能性は大だからです。我が国は戦争に負けたにもかかわらず、やがて経済 大国として再興できたのは、人間社会が「意志の力」で動いている証だからです。

クラウゼヴィッツは、戦争を構成する複数の戦術をそれぞれを遂行する活動(手段)を「戦術」とし、これらの複数の戦術を戦争目的に結びつけ、まとめる活動を「戦略」としました。簡単に言えば、戦術とは「戦い方」であり、戦略とは「戦う意志」の在り方です。そして、きわめて重要なことは、戦略と戦術は全く異なるもので、近代兵学における常識「戦略上の失敗は、戦術では回復し得ない」という結論を、既にクラウ

ゼヴィッツは明快にしていたのです。従って、戦争遂行は「戦術」「戦術」「ロジスティック」の兵学三要素を如何に全軍に徹底させるかが最重要です。これは経営に於いても全く同じです。

クラウゼヴィッツは、戦争を構成する複数の戦術をそれぞれを遂行する活動(手段)を「戦術」とし、これらの複数の戦術を戦争目的に結びつけ、まとめる活動を「戦略」としました。簡単に言えば、戦術とは「戦い方」であり、戦略とは「戦う意志」の在り方です。そして、きわめて重要なことは、戦略と戦術は全く異なるもので、近代兵学における常識「戦略上の失敗は、戦術では回復し得ない」という結論を、既にクラウ

クラウゼヴィッツは、戦争を構成する複数の戦術をそれぞれを遂行する活動(手段)を「戦術」とし、これらの複数の戦術を戦争目的に結びつけ、まとめる活動を「戦略」としました。簡単に言えば、戦術とは「戦い方」であり、戦略とは「戦う意志」の在り方です。そして、きわめて重要なことは、戦略と戦術は全く異なるもので、近代兵学における常識「戦略上の失敗は、戦術では回復し得ない」という結論を、既にクラウ

クラウゼヴィッツは、戦争を構成する複数の戦術をそれぞれを遂行する活動(手段)を「戦術」とし、これらの複数の戦術を戦争目的に結びつけ、まとめる活動を「戦略」としました。簡単に言えば、戦術とは「戦い方」であり、戦略とは「戦う意志」の在り方です。そして、きわめて重要なことは、戦略と戦術は全く異なるもので、近代兵学における常識「戦略上の失敗は、戦術では回復し得ない」という結論を、既にクラウ

「戦争論」の「目的」が、また「戦術」か「戦略」かをハッキリさせることから始めなければなりません。それは「戦争と恋愛は、始めるのは容易いが、終わるのは難しい」というように、形で勝利しても相手が心から屈服しなければ、再び戦争や争いになる可能性は大だからです。我が国は戦争に負けたにもかかわらず、やがて経済 大国として再興できたのは、人間社会が「意志の力」で動いている証だからです。

クラウゼヴィッツは、戦争を構成する複数の戦術をそれぞれを遂行する活動(手段)を「戦術」とし、これらの複数の戦術を戦争目的に結びつけ、まとめる活動を「戦略」としました。簡単に言えば、戦術とは「戦い方」であり、戦略とは「戦う意志」の在り方です。そして、きわめて重要なことは、戦略と戦術は全く異なるもので、近代兵学における常識「戦略上の失敗は、戦術では回復し得ない」という結論を、既にクラウ

クラウゼヴィッツは、戦争を構成する複数の戦術をそれぞれを遂行する活動(手段)を「戦術」とし、これらの複数の戦術を戦争目的に結びつけ、まとめる活動を「戦略」としました。簡単に言えば、戦術とは「戦い方」であり、戦略とは「戦う意志」の在り方です。そして、きわめて重要なことは、戦略と戦術は全く異なるもので、近代兵学における常識「戦略上の失敗は、戦術では回復し得ない」という結論を、既にクラウ

クラウゼヴィッツは、戦争を構成する複数の戦術をそれぞれを遂行する活動(手段)を「戦術」とし、これらの複数の戦術を戦争目的に結びつけ、まとめる活動を「戦略」としました。簡単に言えば、戦術とは「戦い方」であり、戦略とは「戦う意志」の在り方です。そして、きわめて重要なことは、戦略と戦術は全く異なるもので、近代兵学における常識「戦略上の失敗は、戦術では回復し得ない」という結論を、既にクラウ

クラウゼヴィッツは、戦争を構成する複数の戦術をそれぞれを遂行する活動(手段)を「戦術」とし、これらの複数の戦術を戦争目的に結びつけ、まとめる活動を「戦略」としました。簡単に言えば、戦術とは「戦い方」であり、戦略とは「戦う意志」の在り方です。そして、きわめて重要なことは、戦略と戦術は全く異なるもので、近代兵学における常識「戦略上の失敗は、戦術では回復し得ない」という結論を、既にクラウ

クラウゼヴィッツは、戦争を構成する複数の戦術をそれぞれを遂行する活動(手段)を「戦術」とし、これらの複数の戦術を戦争目的に結びつけ、まとめる活動を「戦略」としました。簡単に言えば、戦術とは「戦い方」であり、戦略とは「戦う意志」の在り方です。そして、きわめて重要なことは、戦略と戦術は全く異なるもので、近代兵学における常識「戦略上の失敗は、戦術では回復し得ない」という結論を、既にクラウ

クラウゼヴィッツは、戦争を構成する複数の戦術をそれぞれを遂行する活動(手段)を「戦術」とし、これらの複数の戦術を戦争目的に結びつけ、まとめる活動を「戦略」としました。簡単に言えば、戦術とは「戦い方」であり、戦略とは「戦う意志」の在り方です。そして、きわめて重要なことは、戦略と戦術は全く異なるもので、近代兵学における常識「戦略上の失敗は、戦術では回復し得ない」という結論を、既にクラウ

クラウゼヴィッツは、戦争を構成する複数の戦術をそれぞれを遂行する活動(手段)を「戦術」とし、これらの複数の戦術を戦争目的に結びつけ、まとめる活動を「戦略」としました。簡単に言えば、戦術とは「戦い方」であり、戦略とは「戦う意志」の在り方です。そして、きわめて重要なことは、戦略と戦術は全く異なるもので、近代兵学における常識「戦略上の失敗は、戦術では回復し得ない」という結論を、既にクラウ

クラウゼヴィッツは、戦争を構成する複数の戦術をそれぞれを遂行する活動(手段)を「戦術」とし、これらの複数の戦術を戦争目的に結びつけ、まとめる活動を「戦略」としました。簡単に言えば、戦術とは「戦い方」であり、戦略とは「戦う意志」の在り方です。そして、きわめて重要なことは、戦略と戦術は全く異なるもので、近代兵学における常識「戦略上の失敗は、戦術では回復し得ない」という結論を、既にクラウ

クラウゼヴィッツは、戦争を構成する複数の戦術をそれぞれを遂行する活動(手段)を「戦術」とし、これらの複数の戦術を戦争目的に結びつけ、まとめる活動を「戦略」としました。簡単に言えば、戦術とは「戦い方」であり、戦略とは「戦う意志」の在り方です。そして、きわめて重要なことは、戦略と戦術は全く異なるもので、近代兵学における常識「戦略上の失敗は、戦術では回復し得ない」という結論を、既にクラウ

クラウゼヴィッツは、戦争を構成する複数の戦術をそれぞれを遂行する活動(手段)を「戦術」とし、これらの複数の戦術を戦争目的に結びつけ、まとめる活動を「戦略」としました。簡単に言えば、戦術とは「戦い方」であり、戦略とは「戦う意志」の在り方です。そして、きわめて重要なことは、戦略と戦術は全く異なるもので、近代兵学における常識「戦略上の失敗は、戦術では回復し得ない」という結論を、既にクラウ

クラウゼヴィッツは、戦争を構成する複数の戦術をそれぞれを遂行する活動(手段)を「戦術」とし、これらの複数の戦術を戦争目的に結びつけ、まとめる活動を「戦略」としました。簡単に言えば、戦術とは「戦い方」であり、戦略とは「戦う意志」の在り方です。そして、きわめて重要なことは、戦略と戦術は全く異なるもので、近代兵学における常識「戦略上の失敗は、戦術では回復し得ない」という結論を、既にクラウ

クラウゼヴィッツは、戦争を構成する複数の戦術をそれぞれを遂行する活動(手段)を「戦術」とし、これらの複数の戦術を戦争目的に結びつけ、まとめる活動を「戦略」としました。簡単に言えば、戦術とは「戦い方」であり、戦略とは「戦う意志」の在り方です。そして、きわめて重要なことは、戦略と戦術は全く異なるもので、近代兵学における常識「戦略上の失敗は、戦術では回復し得ない」という結論を、既にクラウ

クラウゼヴィッツは、戦争を構成する複数の戦術をそれぞれを遂行する活動(手段)を「戦術」とし、これらの複数の戦術を戦争目的に結びつけ、まとめる活動を「戦略」としました。簡単に言えば、戦術とは「戦い方」であり、戦略とは「戦う意志」の在り方です。そして、きわめて重要なことは、戦略と戦術は全く異なるもので、近代兵学における常識「戦略上の失敗は、戦術では回復し得ない」という結論を、既にクラウ

全国防衛協会連合会の課題と活動方針

自衛隊は、国際情勢が激変する中において本来の防衛任務に加え、国際貢献活動や各種災害派遣に引き続き献身的に対応している。

北東アジアにおける軍事情勢が一段と厳しいう中、安全保障環境は新たな段階を迎えている。防衛態勢の整備や自衛隊に対する国民の信頼は高まりつつある一方、今田憲法上の位置づけや防衛基盤の充実及び国民の防衛意識は必ずしも充分にはない。

このような情勢下、当会の目的である「国民の防衛意識の高揚」と「自衛隊に対する支援・協力」に基づく活動は、益々重要性が高まっている。

この度大変え、平成31年度は下記事項を重点に活動を推進し、本会の氏名達成を図る。

①新しい内外情勢及び防衛の今日的意義・役割について国民世論を啓発し、国民の防衛に関する理解と知識を高める。

②自衛隊を激励・支援するとともにあらゆる機会を活用して、自衛隊と国民の一体感の醸成を図るとともに、我が国の防衛態勢の強化に寄与する。

③政府及び各政党に対し、要望書により所要の要望を行う。

④活動基盤を強固にするために、組織を整備充実するとともに、都道府県協会の支援並びに女性部会及び青年部会の会勢拡大を図り合わせて各友好団体との連携を強化する。

⑤健全な財政基盤を維持するため、予算の重点的かつ効率的執行に努めるとともに、特別会員の維持拡大に努める。

OSAKA防衛・防災フェスティバルの写真集



チビッコレンジャーと副大臣



赤ちゃんも参加



いい湯だな♪



将来はライダー!

新着任幹部紹介

- ☆中部方面総監部幕僚長
陸将補 木口 雄司 (よしかみ ゆうし)
※蛭川利幸前幕僚長は第6師団長へ(山形県神町)
- ☆大阪地方協力本部長
陸将補 富崎 隆志 (とみざき たかし)
※梅田将本部長は警務隊長へ(市ヶ谷)

(以上4月1日付)

元年度会員総会決定※1

- 6月4日(火) 新阪急ホテル2階
- 第一部 議案審議 一六〇〇〜一六三〇
 - 第二部 総会行事 一六四〇〜一七二〇
 - 第三部 記念講演 一七三〇〜一八五〇
演題 「激動の世界をどう生き延びるか」
講師 評論家 馬淵睦夫(まぶちむつお)氏
 - 第四部 懇親会 一九〇〇〜二〇三〇
- 出席お申し込みは同封はがきかFAXをお願いします。

馬淵睦夫氏プロフィール

(まぶちむつお)



元駐ウクライナ兼モルドバ特命全權大使、元防衛大学教授、現吉備国際大学客員教授。
1946年京都府生まれ。京都大学法学部在籍中に外務公務員上級試験に合格1968年外務省入省。1971年英国ケンブリッジ大学経済学部卒業。2000年駐キューバ大使、2005年駐ウクライナ兼モルドバ大使を経て2008年外務省退官。同年防衛大学教授に就任し、2011年退職。2014年4月から現職。
著書に「いま本当に伝えたい感動的な日本の力」「国難の正体」(以上総和社)、「(青林堂)」「反日中韓を操るのはじつは同盟国・アメリカだった」「そうかだから日本は世界で尊敬されているのか」「2019年世界の真実」(以上ワック)など。

行事メモ

(平成31年4月〜6月)

- ☆空自109期一般幹部候補生(防大一般部内)等入校式(奈良) 4月4日(木)
- 中部方面音楽隊スペシャルコンサート(大阪) 4月14日(日)
- 平成31年度理事会(大阪) 4月19日(金)
- 信太山駐屯地創立記念行事(大阪) 4月21日(日)
- 中方・有識者懇談会(伊丹) 4月27日(土)
- 大津駐屯地創立記念行事 4月27日(土)
- 第3師団・千僧駐屯地創立記念日(千僧) 5月12日(日)
- 青野原駐屯地創立記念行事(小野) 5月19日(日)
- 大久保駐屯地創立記念行事(宇治) 5月25日(土)
- 元年度青年部総会(大阪) 5月27日(月)
- 中央音楽隊定期演奏会(西宮) 5月31日(金)
- ☆航空自衛隊奈良基地祭(奈良) 6月1日(土)
- 元年度会員総会(大阪) ※1 6月4日(火)
- ▽阪神基地隊開隊記念行事(神戸) 6月初旬 未定
- 全国防衛協会連合会総会(東京) 6月12日(水)
- ☆航空中央音楽隊演奏会(豊中) 6月21日(金)
- 陸▽海☆空 協会関連

女心の防衛論

外国人労働者受け入れ憂国論

大阪府立大学教授 堀江 珠喜 (ほりえたまき)



先日、久々にロンドンのリッツホテルに滞在した。定宿ではあるが何かが違う! なかった!

英国人従業員が接客部門に殆どいないのだ。老ドアマンと老コンシェルジュは英国人のようだが、フロントの担当者も地下にある会員制カジノの受付も中国系である。

レストランのウェイターで、いわゆるクイーンズイングリッシュを話せる者が、どのくらいいるのだろうか?

最初の夜は、スペイン出身のウェイターで、巻き舌のRが聞き取りにくかった。

翌朝は、イタリア人ウェイターで、我々夫婦が少しイタリア語が話せるとわかると、それから英語ではなく、彼の母語でサービス始めた。

食後、我々がレストランを出るとき、

何人もの従業員が、機嫌よくイタリア語で送り出してくれた。ここはロンドンなのに。
その夜、またこのレストランに在米英国人の旧友を伴って行ったところ、朝のウェイターが飛んできてイタリア語でまくしたてた。我々夫婦は理解できたが、旧友は、うんざりしたように、「君、英語、話せないの?」
リッツは英国王族もよく訪れる老舗だ。それが、この有様。
いったい英国人たちは、どこへ行ってしまったんだろう?

とはいえ英国は世界中に植民地を持っていたから各地域からの労働者受け入れの歴史は古い。
また、ヨーロッパ大陸で戦乱や革命が起こるたび、亡命者がやって来た。さらに米國成金が、英国上流社会に入り込み、ヤンキー娘を伯爵夫人に仕立てるのは、この百年余りの常套手段だ。最近では、メーガン妃まで誕生している。そもそも現王室はドイツ系だ。
それにひきかえ、日本はまだまだ外国人受け入れに慣れていない。本当に、大丈夫だろうか?

「移民ではない」とのことだが、日本人と結婚し、子供が生まれたらどうなる?
私が驚くのは、保守系議員たちが受け入れに積極的なことだ。
現在日本では、生涯独身者が少なくない。そこに海外から優秀そうな女性やタフガイが単身でやって来る。国際結婚が悪いとは言わない。本人たちが幸せなら祝福すべきだ。だが保守系の皆様は、ご自分たちの子孫が、そのような出稼ぎ労働者と恋

に落ち、結ばれることになったら憤慨されるのではないだろうか?
50年近く前、シアトルにホームステイさせてもらった裕福な白人夫婦には、息子が3人。
後年、その消息をたずねたところ、一人はアジア系、一人はコロンビア系黒人、一人は白人娘と結婚したとか。つまり一家庭で、国際化してしまったのだ。
米國は移民の国だから、それもいい。だが、日本の保守的家庭で、そんな結果が受け入れられるのだろうか?
ちなみに米國西海岸では、中国本土から留学や移住が凄まじい勢いで増え、高級不動産が買い占められていく。たいていはリッチな夫を中国に残し、妻と子供が米國に渡る。このチャイナワイフたちは白人男性に人気があるらしい。(宋美齡が単純な米人たちを味方にした反日の事実を連想せずにはいられない。)こうやって中国は米國を侵略しつつある。
いっぽう日本は、なし崩し的に外国人労働者を受け入れ、混沌を招くことを憂う次第である。

事務局だより

○あと一か月後に新しい元号が変わり、国内外共に激動の時代を迎えることを予感しておりますが、会員の皆様におかれましては、どうかご期待ください。
ご友人等御誘いあわせの上是非ご参加下さい。
事務局
06-6202-18284へ

「自衛隊を撮ろう」写真コンテストの案内
自衛隊(装備・人物・演習等)を題材とした写真を募集中です。
昨年撮った自慢の写真を贈り下さい。
●撮影期間 平成30年度内
●締め切り 19年5月末
●審査 審査プロカメラマンによりOBK大賞等決定 ●発表 19年7月「まもり」紙上で発表します
●送り先 大阪防衛協会事務局
Eメール ek@ace.odn.ne.jp (T&F 06-6202-8284)

！大至急！
中部方面音楽隊
スペシャルコンサート in 中之島
日時 平成31年4月14日(日)
第1回 14:00~(開場13:00)
第2回 18:00~(開場17:00)
場所 大阪市中央公会堂
(御堂筋線、京阪電鉄
淀屋橋駅から徒歩5分)
応募要領 (無料 入場券が必要です)
・住所・氏名・年齢・電話・希望回・希望枚数(2枚まで)4月9日まで事務局へご連絡下さい。
※応募者多数の場合は抽選とし、当選者に入場券を発送します。
お問い合わせ 事務局へ
☎F 06-6202-8284

！大至急！
安全保障対談
「東アジアの安全保障環境の今と未来」(丹桜会20周年記念)
日時 平成31年4月14日(日)
14:30~16:00
場所 大阪新阪急ホテル2F「月」
講師 折木良一 (元統合幕僚長)
ロバート・D・エルドリッジ (エルドリッジ研究所代表)
井手裕彦 (読売新聞前編集委員)(司)
申込み方法 氏名、年齢、職業又は所属団体、携帯電話番号、人数記入の上
Email tanohkai-414@memoad.jpへ